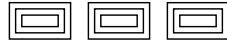




CARL SUCHY & SÖHNE  
WIEN 1822



## WALTZ N°1

Inspired by Viennese Modernism from 1900, Waltz N°1 features a minimalistic design coupled with a deep love for the applied materials and an obsession for technological innovation.



### WALTS No. 1の発表

2017年2月、かつての王宮時計師の名を冠したブランドが、ウィーンのLooshaus (ロースハウス、チェコ出身の建築家アドルフ・ロースが設計した近代建築) にて、22本の限定生産である「Waltz No. 1」のファースト・シリーズとともに復活しました。22本とは、ブランドの設立年1822年に敬意を表したものです。

### WALTZ No. 1 セカンド・シリーズの発表

2017年12月、セカンド・シリーズが50本の限定で発表されました。セカンド・シリーズには、以下のような特徴があります。

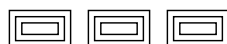
- ブラックまたはホワイトを基調とした45本
- ブランド初のブルー・ダイヤルを備えた「Waltz No. 1 Blue Danube (ワルツNo.1 ブルー・ダニューブ)」が5本限定で登場
- ケースバックには、固有番号を刻印
- セカンド・シリーズであることを示す「B」の刻印

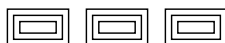
### 価格

- ¥ 1,200,000.- (税別)

### TECHNICAL SPECIFICATION

- Vaucher Manufacture Fleurier社製自動巻きムーブメント VMF 5401を搭載
- サファイア・クリスタルのケースバック
- Carl Suchy & Söhneデザインのゴールドプレートを施したマイクロローター
- コート・ド・ジュネーブ装飾と手作業による面取り
- 100% スイスメイド
- 29石
- 約48時間のパワーリザーブ
- 3気圧日常生活防水
- 41.5mm ポリッシュ仕上げのスティール・ケース
- 厚さ9.3mm 薄型
- 時・分・秒表示「秒」は6時位置にある回転ディスク、「ワルツィング・ディスク」で表示
- ブラックのレザー・ストラップ
- 調整可能なフォールディング・バックル
- ブラック・モデルのケースは、ステンレススティール ADLC処理
- Carl Suchy & Söhneデザインによる木製化粧箱





ステンレススティール  
シルバー・ダイアル



ブラック  
シルバー・ダイアル



ステンレススティール  
ブルー・ダイアル



ブラック  
ブラック・ダイアル



ステンレススティール  
ブラック・ダイアル



約100年前、皇帝Franz Joseph I (フランツ・ヨーゼフ1世)とSigmund Freud (ジークムント・フロイト)は、ウィーン、プラハ、スイスのラ・ショードフォンにワークショップを構えていた、ハプスブルク帝国のお抱え時計師である、Carl Suchy & Söhne (カール・スッキー&ゾーネ)の尊敬される顧客の一人でした。2017年、この伝説的なオーストリアのウォッチブランドが復活しました。自動巻きファーストモデルWaltz No. 1 (ワルツNo. 1)は、ユニークな歴史的遺産と、最先端のコンテンポラリーなデザイン、スイスのクラフトマンシップを融合させたものです。A.H.C.I. (Académie Horlogère Des Créateurs Indépendants、独立時計師アカデミー)のメンバーであるウォッチメーカーMarc Jenni (マーク・イェンニ)が7ヶ月かけて制作した自動巻きムーブメントを搭載したリストウォッチは、ウィーンのモダニズムにあるミニマルなエレガンスからインスピレーションを得たもので、厳密な年間限定生産です。

#### ニューシリーズ

2017年シリーズ完売の後、Waltz No.1のセカンドバージョンが50本リリースされました。ブラックとホワイトを基調とした4つの古典的なバージョンに加えて、ダークブルーのダイアルを備えたWaltz No. 1 Blue Danube (ワルツNo.1 ブルー・ダニューブ)が発表されました。

#### ウィーンから世界へ

Carl Suchy & Söhneは、オンライン・ショップを介して成長を続けましたが、今後は、オーストリアや国際的な時計専門店とのコラボレーションを念頭においています。

#### WALTZ No. 1

1900年からのウィーンのモダニズムに触発されたWaltz No. 1は、使用されているマテリアルへの深い愛と、技術革新をあわせたミニマルなデザインを特徴としています。

#### ウィーン・デザイン

Waltz No. 1のシグネチャーは、ダイアル上に表現された緻密なギョーシェ・パターンで、縦横のストライピングに分かれています。同様に6時位置にある「Waltzing Disc (ワルツィング・ディスク)」にも同様の装飾が施されています。モデル名が表しているように、秒表示ディスクは完璧な円で回転し、ダイアルのギョーシェ・パターンと1分間に1回一致します。これは、ウィーンのカフェ文化とウィーンの間感覚に敬意を表するものです。

#### 極薄ムーブメント

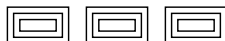
Waltz No. 1には、Vaucher Fleurier Manufacture社製の、ゴールドブレイトのマイクロローターがセットされた極薄自動巻きムーブメントが搭載され、サファイア・クリスタル製のケースバックを通してその姿を眺めること

ができます。この機械式リストウォッチは、A.H.C.I.のメンバーであるMarc Jenni (マーク・イェンニ)、Reinhard Steger (ラインハルト・シュテーター)とMiloš Ristin (ミロシュ・リスティン)という2人のデザイナー、CEOであり、クリエイティブ・ディレクターであるRobert Punkenhofer (ロベルト・ジークムント)のコラボレーションにより誕生しました。Waltz No. 1の詳細な情報は、スペックシートをご覧ください。

#### レガシー: CARL SUCHY & SÖHNE について

CARL SUCHY & SÖHNEは、オーストリア唯一の歴史的なラグジュアリー・ウォッチ・ブランドで、100年の美しき睡眠の後、復活しました。ドナウ君主制の時代、ウォッチメーカーであるCarl Suchyと、彼の息子たちは、皇帝Franz Joseph Iと皇后Elizabeth (エリザベト、シシー)に仕える宮廷時計師であり、精神分析の父であるSigmund Freud (ジークムント・フロイト)は、ベスト着用時、Carl Suchy & Söhne製のポケットウォッチを愛用し、定期的に睡眠セッションに利用しました。Suchyファミリーは、3世代にわたり、ハプスブルク王朝の最も重要なウォッチメーカーとしての地位を維持し、皇室やオーストリアの上流階級の人々に時計を届けました。





# THE LEGACY

—

優れた業績と受賞経歴を誇るCarl Suchy & Söhne  
の豊かな歴史を振り返ります。



プラハ中心地にオープンしたショップ

**1796年** Carl Suchy (カール・スッキー)、プラハの歴史的中心地に生まれる

**1812年まで** ドイツの有名なウォッチメーカー、Franz Lehner (フランツ・レーナー) のもとで、ウォッチメーカーの修行をする

**1812-1819年** ドイツ、スイスを旅する  
1821年Carl Suchy、Josephine Kropupa (ジョセフィーヌ・クロウパ) とプラハで結婚する

**1822年** 26歳になったSuchyは、プラハの中心地にショップをオープンする。技術的に優れていた彼のペンデュラム・クロックとウォール・クロックは瞬間に成功を収める

**1827年** 長男、Carl Suchy Junior (カール・スッキージュニア) が生まれる。1830年次男、Johann Anton (ヨハン・アントン- Hans) が生まれる。同じ年、将来のオーストリア皇帝となるFranz Joseph I (フランツ・ヨーゼフ1世) も誕生する

**1832年** 毎年、定期的に出品していたライプツィヒのトレードフェアではしばしば賞を受賞した。三男Anton Gottfried (アントン・ゴットフリート) が生まれる

**1835年** Ferdinand I (フェルディナント1世) の戴冠式にあたり、プラハのロイヤルコートにクロックを設置する。

**1838年** Suchyのビジネスは拡大し、従業員は35名にまで増えた彼は、国際的な拡大を見せた最初のウォッチメーカーの一人である

**1841年** Suchyの末っ子、Emanuel Suchy (エマヌエル・スッキー) が生まれる  
同じ年、オーストリアの有名な建築家であり都市計画者のOtto Wagner (オットー・ヴァグナー) も生まれている

**1844年** Carl Suchy (カール・スッキー) は、「彼の作る時計の優雅さと技術的完璧性については、期待以上のものがある」として、初めての宮廷時計職人に任命され、長年にわたってその職を務めた

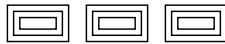
**1845年** Suchyの2人の息子、CarlとHansは、有名なチェコのウォッチメーカー、Josef Kosek (ヨセフ・コセック) のもとでの修行を終える。修行中の数年は、スイスの最高のウォッチメーカーとともに勉強していた

**1848年** オーストリア皇帝Franz Joseph I (フランツ・ヨーゼフ1世) 戴冠式

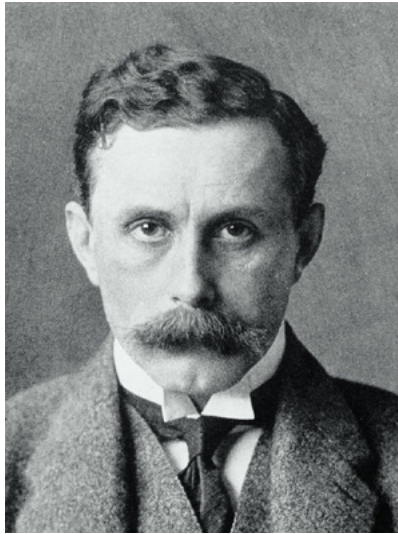
**1849年** Suchyの息子たちが親のビジネスに加わり、Carl Suchy & Söhne (カール・スッキー& ゴーネ) と改名され、オーストリアではもっとも有名なクロック・ファクトリーとなる

**1853年** Carl Suchy Juniorが、Le Corbusier (ル・コルビジエ) の生誕地であるスイスのLa Chaux-de-Fonds (ラ・ショードフォン) にポケットウォッチ・ファクトリーを設立する。ファクトリーでは、ファミリー・ビジネス用に供給するだけでなく、イギリスにも輸出されていた





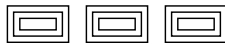
Gustav Klimt 作「接吻」



Adolf Loos



16世紀のウォッチメーカーの衣装を纏った Carl Suchy Junior



**1858年** オーストリアの高級紳士服ブランドKnize (クニーシェ) が設立される。

**1862年** ウィーンのアート史に大きな影響を与えることになる、アーティスト Gustav Klimt (グスタフ・クリムト)、作家 Arthur Schnitzler (アルチュール・シュニッツラー) が生まれる

**1863年** Suchyの次男Hansが、ウィーンの中心地Rothenurmstraße 6 (ローテントウム通り6番地) にワークショップを開設する。Johann Antonは、ブラハのショップを引き継ぐ。彼もまた宮廷時計職人に任命される

**1865年** ウィーンのRingstraße (リング通り) が開通。オーストリア初の馬車鉄道は、ウィーンのSchottentor (ショットテントール) と郊外のHernals (ヘルナルス) を結んだ

**1866年** 創業者Carl Suchy亡くなる (享年70歳)。末っ子Emanuelがブラハのショップを引き継ぐ

**1867年** Johann Strauß (ヨハン・シュトラウス) 作、Blue Danube Waltz (美しく青きドナウ) がウィーンで初演

**1870年** 有名な建築家、デザイナーであるAdolf Loos (アドルフ・ロース) と Josef Hoffmann (ヨーゼフ・ホフマン) が生まれる

**1872年** Emanuel Suchy、ブラハ初のボランティア消防隊を設立

**1879年** Carl Suchy Juniorは、Franz Joseph I (フランツ・ヨーゼフ1世) とその妻、Elizabeth (エリザベート) の結婚20周年を祝って、リングで開催された有名なマカルト行列に参加。Suchyは誇らしげに16世紀のウォッチメーカーを髣髴とさせる衣装を纏っていた1886年Sigmund Freud (エリザベート・フロイト) がウィーンに鍛錬所を開設し、精神分析の方法を開発する

**1891年** ウィーンのカフェ文学として知られている「Young Vienna - Jung Wien」ムーブメントは、オーストリアとその周辺の文学運動を形作る、ウィーンのカフェに集う芸術家、作家、知識人たちの集会や討論によって生まれた。Peter Altenberg (ペーター・アルテンベルク)、Arthur Schnitzler (アルチュール・シュニッツラー)、Hugo von Hoffmannsthal (ユーゴ・フォン・ホフマンスタール)、Stefan Zweig (シュテファン・ツヴァイク) らが、もっとも有名なメンバーである

**1894年** Emanuel Suchyは、ブラハ消防隊に対する偉大な支持により、Franz Joseph Iより権威ある帝国勲章Knight's Crossを授与される

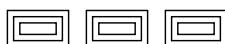
**1895年** 当時もっとも影響力のある建築家の一人であったOtto Wagner (オットー・ワグナー) は、装飾的な歴史主義の終わりを宣言する。そしてモダニズム、哲学、文学、音楽、芸術、デザイン、建築の旗印のもとで、Jugendstil (ユージェントシュティル) の時代が始まる

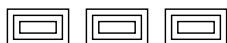
**1898年** Hans Suchy亡くなる。彼の未亡人Therese (テレーゼ) は、ウィーンのRothenurmstraße (ローテントウム通り) のショップを引き継ぐ。彼女も宮廷時計職人の榮譽に浴した

**1907年** Adolph Cervinka (アドルフ・チェルヴィンカ) が、ブラハのCarl Suchy & Söhneの新しいオーナーとなる。ショップは、市の中心地Na Příkopě (ナ・プシーコペ) という特別な場所に移転する

**1918年** オーストリア・ハンガリー二重帝国の終焉とともにCarl Suchy & Söhneも休眠状態となる

**2016年** Carl Suchy & Söhne の復活





## ABOUT

### ROBERT PUNKENHOFER (ロベルト・ワーグナー)

2017年以来、Carl Suchy & Söhne社オーナー兼CEO世界的に有名なアートとデザインにおけるエキスパート。ニューヨークのアーティストVito Aconcci (ヴィート・アコンチ) とともに、自分のホームタウンであるGraz (グラーツ) に建設したMurinsel (ムーアインゼル) のプロジェクトやウィーン・アートウィーク、日本での愛知万博、スペインのサラゴサ、中国の上海における万博など、100以上の展示会やスペシャル・プロジェクトの責任者を務めました。

### MILOŠ RISTIN (ミロシュ・リスティン) - プロダクト・デザイナー

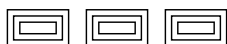
セルビア生まれ、現在ではスイスをベースとして活躍するMiloš Ristin は、著名なローザンヌのECAL (Ecal School Cantonal D'art de Lausanne, ローザンヌ美術大学) で学びました。彼がデザインする穏やかなオブジェは、最先端の技術と伝統的なクラフトマンシップに対する感謝とを組み合わせたものです。

### REINHARD STEGER (ラインハルト・シュテーター) - グラフィック・デザイナー

オーストリアのデザイナーであり、デザインスタジオProxi (プロクシ) の共同設立者。Goethe Institute (ゲーテ・インスティトゥート) とVenice Biennale (ヴェネツィア・ビエンナーレ) におけるスペイン・パビリオンの仕事に携わりました。

### MARC JENNI (マーク・イェンニ)

独立時計師。旧A.H.C.I. (Académie Horlogère Des Créateurs Indépendants、独立時計師アカデミー) 会員。同じく独立時計師であり、2007年のPrix Gaiaを受賞したPaul Gerber (パウル・ゲルバー) のもとで修行、ニューヨークとスイスのTiffany & Co.で10年間仕事をし、2010年、ウォッチメイキングにおけるコンサルティング・カンパニーNobletime (ノーブルタイム) の共同設立者となりました。



株式会社ノーブルスタイリング

03-6277-1604

WWW.NOBLESTYLING.COM

INFO@NOBLESTYLING.COM